

令和6年度 国有林のあらまし



国民の森林・国有林

九州森林管理局

熊本森林管理署

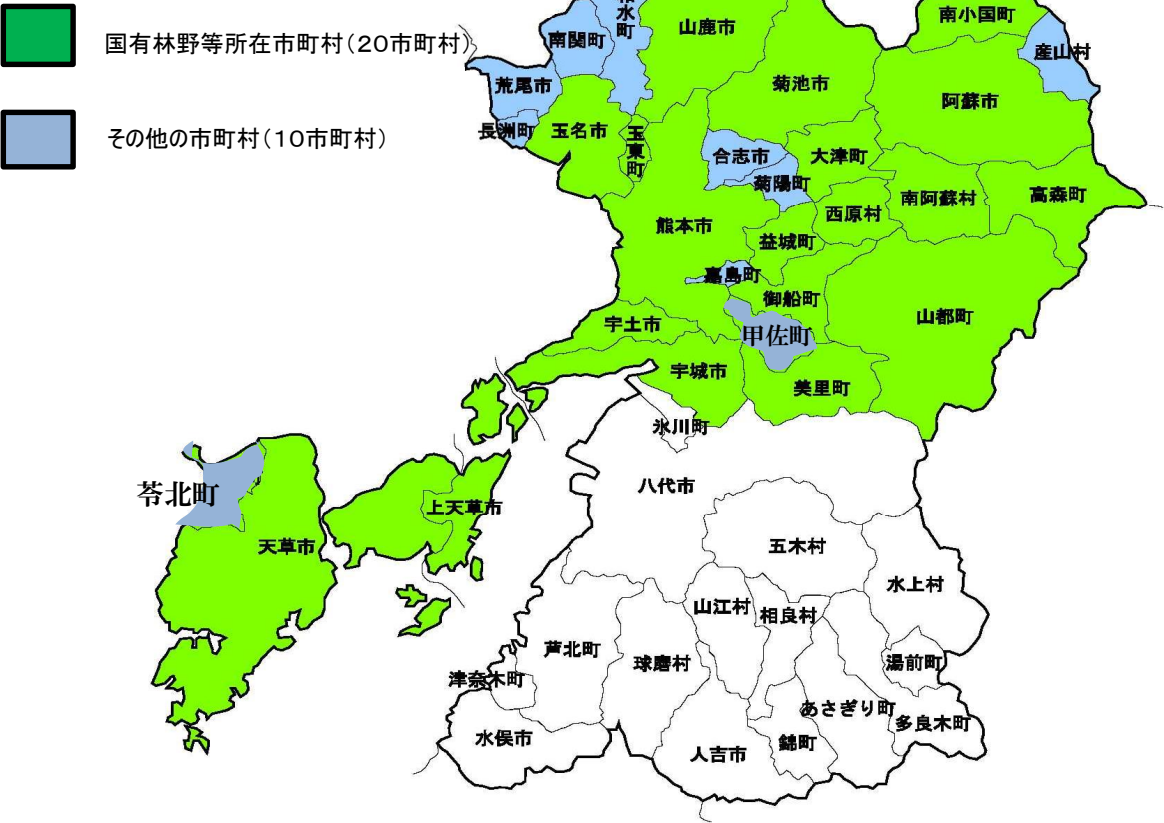
私たちみんなの森林「国有林」

熊本森林管理署は、「白川・菊池川」、「緑川」、「天草」流域に広がる国有林 24,892ha 及び官行造林 940ha を管理経営し、熊本市などの水がめとしての森林、豊かな生物の遺伝資源の保存を図る九州中央山地生物群集保護林、金峰山や菊池溪谷など森林とのふれあいの場を提供するレクリエーションの森などの地域があり、公益的機能の高度発揮が期待されます。

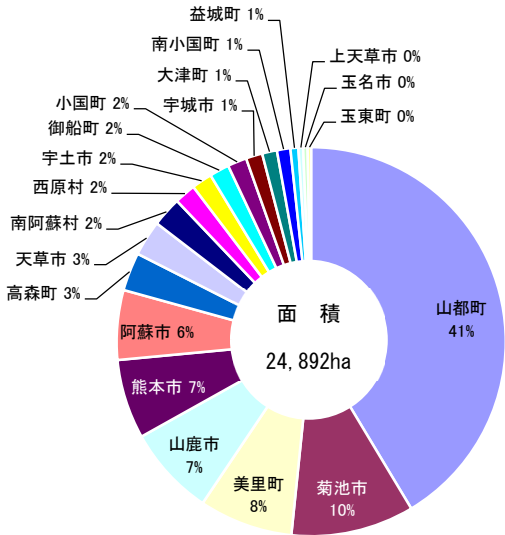
管内図



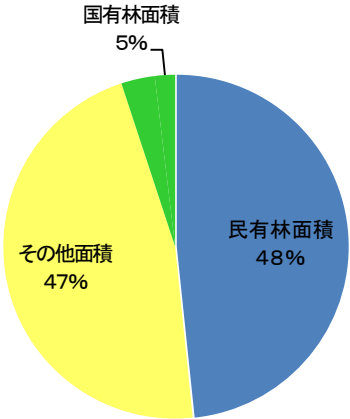
管内の国有林野等所在市町村



**国有林の市町村別面積
(総面積 24,892ha)**



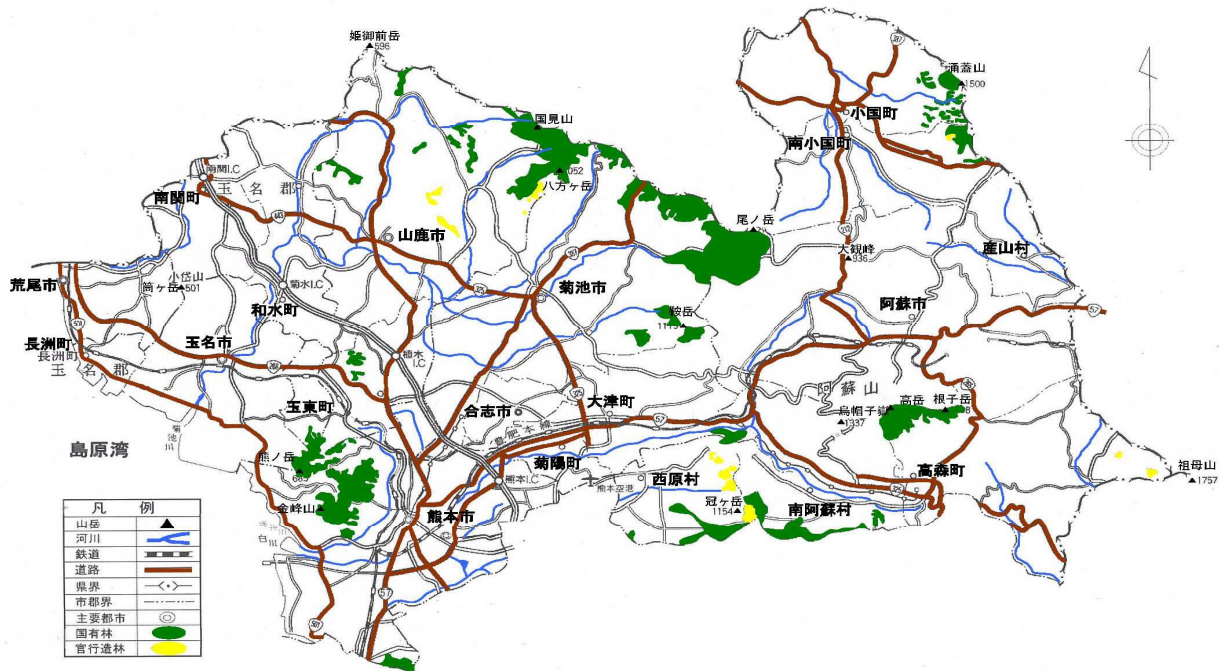
管内の森林の割合
(総面積 472,685ha)



白川・菊池川流域

白川・菊池川流域は、熊本県の北部から北東部に位置し、熊本市、荒尾市、玉名市、山鹿市、菊池市、合志市、阿蘇市、玉東町、南関町、長洲町、和水町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、高森町、産山村、西原村、南阿蘇村の7市9町3村からなり、区域面積は265,759ha、県総面積の36%を占めています。流域の森林総面積は125,438ha、そのうち国有林は10,474ha、官行造林は371haであり、スギ、ヒノキの人工林が主体となっています。阿蘇、菊池地域は、阿蘇くじゅう国立公園に指定され、また特に景観の優れた森林等については、レクリエーションの森「くまもと自然休養林(金峰山地区、菊池水源地区)」等に設定し多くの人たちに親しまれており、木材生産と併せて優れた自然環境を有する森林の保全など、公益的機能の発揮が求められています。

白川・菊池川森林計画区位置図



金 峰 山

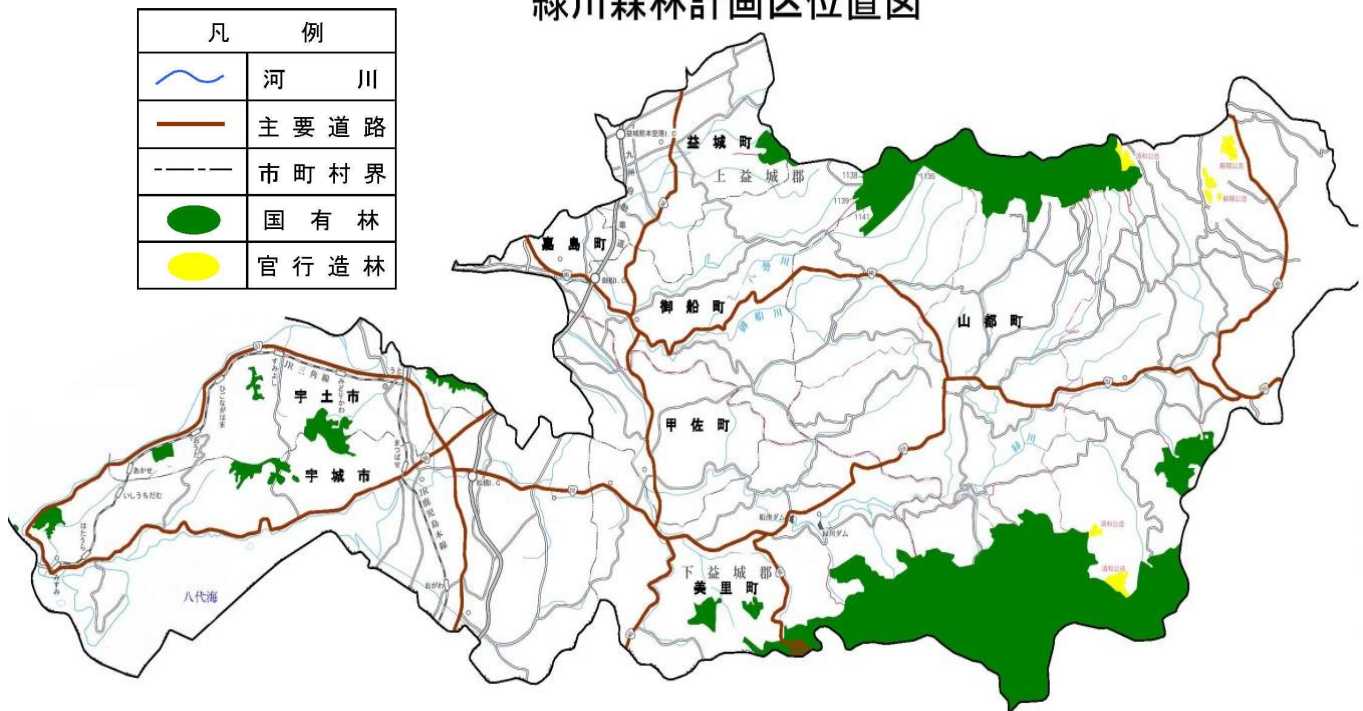


阿 蘇 山

緑川流域

緑川流域は、熊本県のほぼ中央部を東西に横断する形で位置し、宇土市、宇城市、美里町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の2市6町からなり、区域面積は 119,087ha、県総面積の 16% を占めています。流域の森林総面積は 68,527ha、そのうち国有林は 13,581ha、官行造林は 251ha であり、スギ、ヒノキの人工林が主体となっています。九州中央山地の稜線部は、九州中央山地生物群集保護林に設定し、また内大臣川周辺は、指定国内希少野生動植物種であるゴイシツバメシジミの保護を図るため、希少個体群保護林を設定しています。渓谷をはじめ優れた森林景観など豊富な観光資源に恵まれ登山等森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されており、水源涵養や保健文化機能等の公益的機能の発揮が求められています。

緑川森林計画区位置図



通 潤 橋

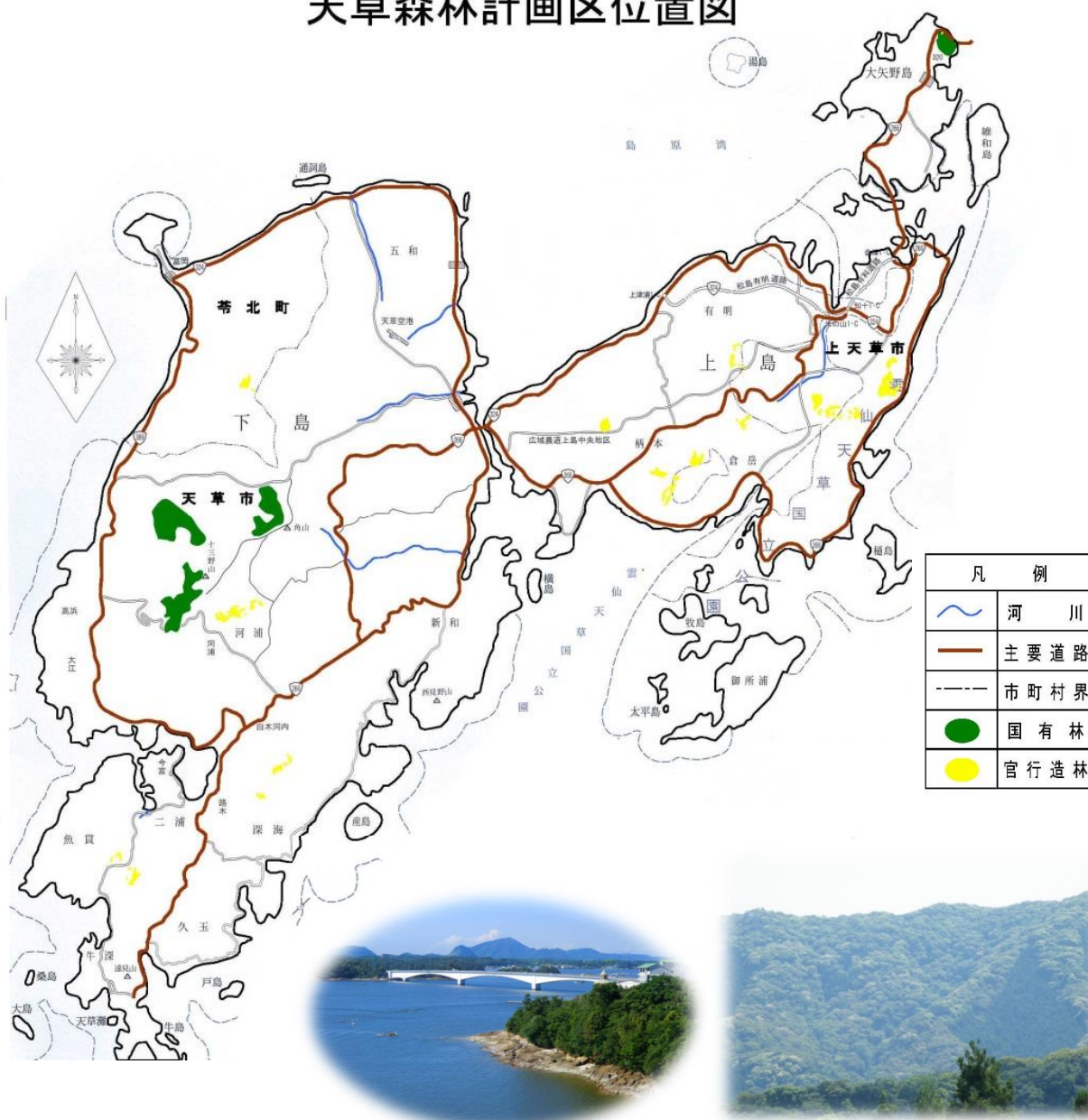


小松神社御神木
(森の巨人たち百選)

天 草 流 域

天草流域は、熊本県の西部に位置する天草諸島を包括する地域からなり、天草市、上天草市、苓北町の2市1町からなり、区域面積は 87,839ha、県総面積の 12%を占めています。流域の森林総面積は、57,967ha、そのうち国有林は 837ha、官行造林は 319haとなっています。上島、下島、それに付属する島々からなり、河川は小流域の単独河川であり、水源涵養、山地災害防止等の公益的機能の発揮が求められています。

天草森林計画区位置図



天草五橋（4号橋）

福連木国有林321林班

国有林の管理経営



重視すべき機能に応じた管理経営

公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、国有林野を「山地災害防止タイプ」、「自然維持タイプ」、「森林空間利用タイプ」、「快適環境形成タイプ」、「水源涵養タイプ」の5タイプに区分し、これら機能類型区分毎の管理経営の考え方に即し、いわゆる公益林として適切かつ効率的に管理経営します。

○山地災害防止タイプ 3,873ha (15.6%)【九州局の割合：109千ha (20.7%)】

〈考え方〉

- ・ 山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視

〈目指すべき森林の姿〉

- ・ 根や表土の保全、下層植生の発達した森林

○自然維持タイプ 2,982ha (12.0%)【九州局の割合：87千ha (16.5%)】

〈考え方〉

- ・ 原生的な森林生態系や希少な生物の生育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視

〈目指すべき森林の姿〉

- ・ 良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林

○森林空間利用タイプ 2,529ha (10.2%)【九州局の割合：15千ha (2.8%)】

〈考え方〉

- ・ 保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視

〈目指すべき森林の姿〉

- ・ 保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林

○快適環境形成タイプ 63ha (0.3%)【九州局の割合：0.1千ha (0.2%)】

〈考え方〉

- ・ 快適な環境の形成機能の発揮を重視

〈目指すべき森林の姿〉

- ・ 騒音の低減や大気浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林

○水源涵養タイプ 15,416ha (62.0%)【九州局の割合：315千ha (59.8%)】

〈考え方〉

- ・ 水源の涵養機能の発揮を重視

〈目指すべき森林の姿〉

- ・ 人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

※木材等生産機能については、区分に応じた適切な施業の結果得られる木材を計画的に供給することにより発揮します。

安全・安心・快適な国民生活の基盤を整備

広葉樹林や広葉樹と針葉樹の混交した森林への誘導など多様な森林づくり、適切な治山事業を積極的に行い、良質な水の供給や木材の供給のほか地球温暖化防止や生物多様性の保全など安全・安心・快適な生活を支えています。



地球温暖化防止への貢献

人工林は、着実に資源が充実し利用期を迎えています。このため、再生可能な資源である木材を循環的に利用するため、引き続き間伐を推進するとともに、公益重視に配慮し、将来的な齢級構成の平準化も考慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に行っています。これにより二酸化炭素吸収源としての機能の維持向上が図られるとともに、生産される木材は住宅などに利用することで、地球温暖化の原因となるCO₂を長期間貯蔵することができます。また、バイオマスとしてさまざまな形で利用することにより石油・石炭等の使用を減らすことができ、地球温暖化の防止に大きく貢献します。

京都議定書第2約束期間であることも踏まえ、間伐などの森林整備等を進めるとともに、保安林などの適切な保全管理に取り組んでいます。



吉無田国有林1140林班

優れた自然環境を有する森林の保全

保護林の保全・管理

国有林は、平成 30 年 4 月 1 日に貴重な野生動植物が生育・生息する保護林を再編しました。当署では九州中央山地生物群集保護林(1,810ha)と希少個体群保護林(8 箇所:302ha)を設定し、その保護・保全を図っています。



希少個体群保護林(旧藩時代のスギ・ヒノキ老齢林)



内大臣希少個体群保護林(モミヅガ、カシ、ケヤキ等)

生物多様性の保全

内大臣川流域では、指定国内希少野生動植物種のゴイシツバメシジミなどの生息環境の維持・保全を図るため希少個体群保護林に設定するとともに巡視等を積極的に行い、生物多様性の保全に努めています。



ゴイシツバメシジミ(山都町)

【環境省レッドリスト、絶滅危惧ⅠA類】



ゴイシツバメシジミ食草のシンラン増殖・育成・協定締結

地域の暮らしを守る治山事業

治山事業・保安林の整備

近年の地震・集中豪雨による山地災害の発生や、地球温暖化により山地災害の発生リスクが増大していることから、自然災害に対する山地防災力の強化に向け、荒廃山地の復旧整備とともに、保安林の水土保持機能の強化等により、地域の安全・安心を確保するための事前防災・減災対策に努めています。

また、平成 28 年 4 月の熊本地震、令和 2 年 7 月豪雨災害及び令和4年台風14号等による災害では、甚大な被害が発生したことから、その復旧・復興に民有林と国有林が一体となって取り組んでいます。

熊本地震からの復旧

北向山国有林 117 林班



復旧前



復旧後

復旧治山工事（高森町）

阿蘇岳国有林226林班



復旧前



復旧後

国民参加の開かれた管理経営

国民参加の森林づくり

特に景観の優れた森林や自然観察などの野外活動に適した森林を、国民の皆さんが森林とふれあえる「レクリエーションの森」に設定し、四季折々の自然の美しさを楽しむことができる自然休養林、風景林として多くの人たちに親しまれています。くもと自然休養林、木原山風景林(雁回山)は、「日本の美しい森 お薦め国有林」として選定し、環境整備や多言語による情報発信に取り組んでいます。

また、森林環境教育や森林づくり活動に参加したいという国民の皆さんの要望に応え、「ふれあいの森」や「遊々の森」、「法人の森林」など国民参加による森林づくりのためのフィールドを提供しています。



くもと自然休養林(金峰山地区)



くもと自然休養林(菊池水源地区)



「ニッセイの森」保育作業
(小萩国有林173林班)



「飽田の森」植樹祭
(狼ヶ宇都国有林124林班)

森林・林業再生に向けた取組

林業の低コスト化

林業のトータルコストの縮減を図るため、路網整備と高性能林業機械による間伐の低コスト化を推進しています。

また、更新が必要な主伐箇所においては、時期を問わず植栽可能なコンテナ苗を用いた「伐採から植栽までの一貫作業」により、地拵えを簡略化した作業システムを推進するとともに、需要が増加している苗木の生産支援策として、さし木用穂木の供給を行っています。



低コスト作業システムによる間伐材の搬出



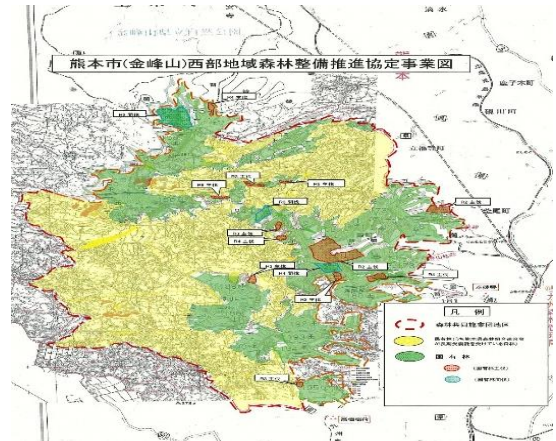
マルチキャビティーコンテナ苗の育成状況

民 国 連 携 に よ る 森 林 整 備

民有林と国有林が一体となった森林整備を進めるため、民国が連携して森林整備を行う森林共同施業団地を設定し、効率的な路網開設や間伐等を推進していくことを目的とする森林整備推進協定の締結を進めています。



森林整備推進協定運営会議
(菊池市・大津町地域)



森林整備推進協定事業図
(熊本市西部地域(金峰山))

流域を単位とした民有林との連携

地域における適切な森林整備や林業・木材産業の活性化を図るために、流域を単位として、民有林と国有林が協調しながら、計画的に事業を進めることが重要です。

このため、民有林行政を担当する県や市町村と連携して、流域の課題やニーズの的確な把握、森林計画等の策定のための意見調整などを進めています。



民有林関係者との打合せ



民有林関係者との現地検討会

人材育成に向けた取組

民有林の関係機関等が開催する現地研修の場として、積極的に国有林のフィールドを提供しています。また、林業事業体を含む民有林関係機関等が開催する研修等への講師派遣や、低コスト林業に係る現地研修、情報提供、共有を行うとともに、県内の森林管理署が合同で民国連携等に必要な民有林施策等の勉強会を開催するなど、森林・林業の再生に必要な人材の育成に努めています。



主伐・再造林に係る現地検討会
(林地残材を有効活用しチップ化する取組事例)



くまもと林業大学校講義
(熊本県林業研究・研修センター)

シカ被害対策に向けた取組

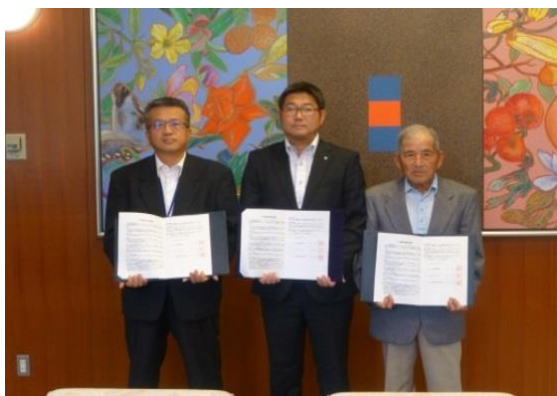
地域と連携した取組

近年のシカ生息域の拡大により農林業への被害が年々増加しており、また森林生態系への影響も深刻になってきています。このため、熊本森林管理署では職員によるシカ捕獲に加え地域と連携したシカ被害対策への取組を進めています。

これまでに、「山都町・山都町内の猟友会各支部」、「高森町・高森猟友会支部・南阿蘇村・南阿蘇猟友会支部」、「美里町・美里猟友会支部」及び「阿蘇市・阿蘇市有害鳥獣捕獲協議会」と熊本森林管理署が連携して、町村内の国有林、隣接する民有林及び農地におけるシカ被害軽減を図ることを目的とした協定を締結しました。

協定では、シカ被害対策を推進し、農林業被害及び森林生態系への影響を軽減するため、協力体制の構築、「くくりわな」の貸与等を行っています。

「シカ被害対策協定」の締結式



（熊本森林管理署、美里町、美里猟友会支部）



（熊本森林管理署、阿蘇市、阿蘇市有害鳥獣捕獲協議会）

引捕獲事業等の実施

今後のシカ被害対策に資するため、被害状況や生息頭数、移動状況等の把握、分析等のための「生息環境等整備事業」を実施するとともに、平成26年度から九州中央山地においてニホンジカの個体数管理を目的とした外部委託による「誘引捕獲事業」を行っています。



職員によるシカ捕獲（阿蘇深葉国有林、くくりわな）

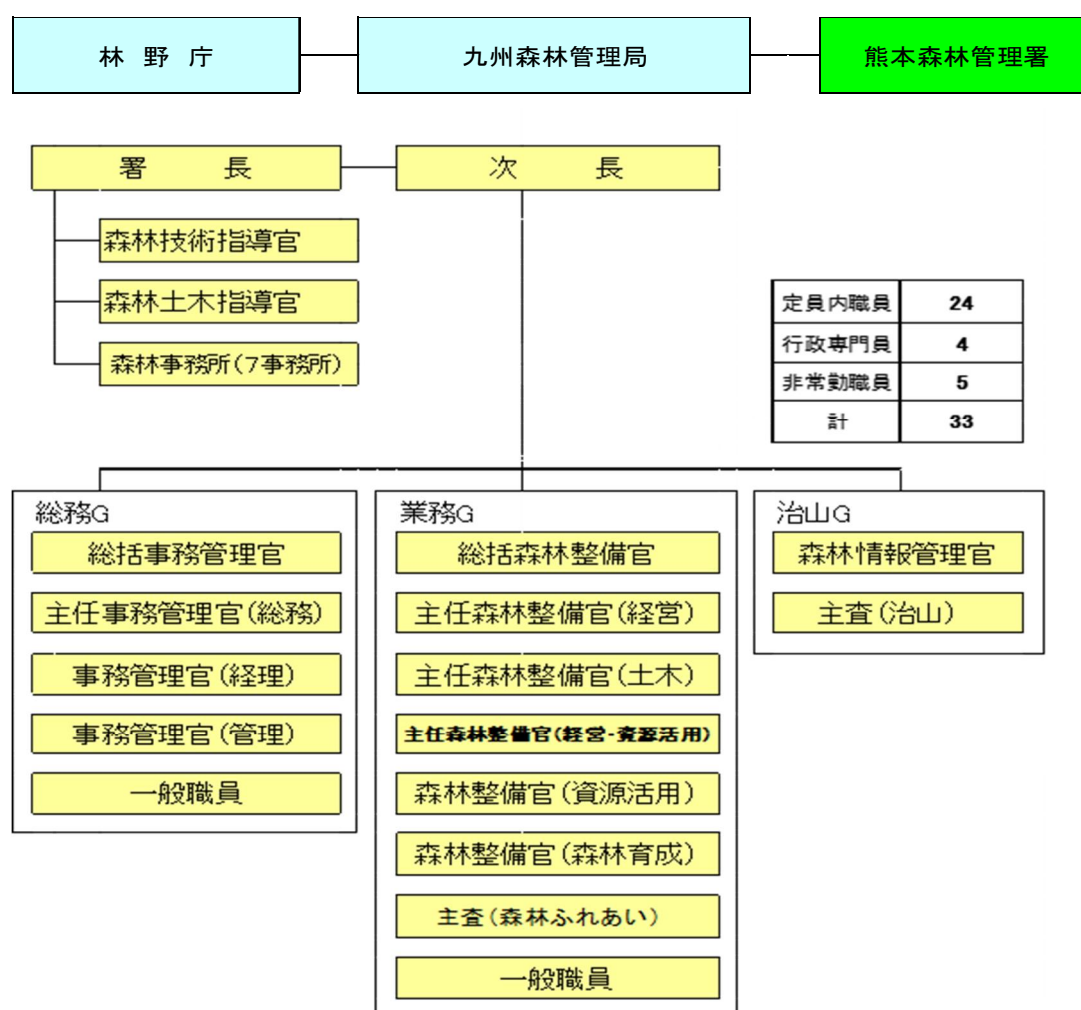


シカの剥被害



山都町内 シカの生息地

● 組 織 図



● 森林事務所別管轄面積等

森林事務所	国有林野面積(ha)	官行造林面積(ha)	国有林野等所在市町村
菊池(首席)	3,310	14	菊池市、阿蘇市、大津町、南小国町、小国町
内田(首席)	3,379	148	菊池市、山鹿市
熊本	1,585		熊本市、玉名市、玉東町、
南阿蘇(首席)	3,374	289	大津町、山都町、高森町、南阿蘇村、西原村、益城町、御船町
天草	1,494	319	宇土市、宇城市、上天草市、天草市、苓北町
矢部内大臣 (地域統括)	6,325		山都町、美里町、甲佐町、熊本市、宇土市
大矢(首席)	5,425	170	山都町
計	24,892	940	

熊本森林管理署の歩み

明治19年	大小林区署官制公布
明治21年	熊本大林区署設置
明治23年	菊池小林区署・金峰山小林区署設置
大正13年	営林局署官制公布により熊本営林局熊本営林署、菊池営林署、浜町営林署に改称
昭和32年	浜町営林署を矢部営林署に改称
昭和63年	組織の再編により菊池営林署を熊本営林署に統合、熊本営林署となる
平成11年	組織の再編により熊本営林署と矢部営林署を統合改組し熊本森林管理署と矢部事務所となる
平成16年	組織の再編により矢部事務所を廃止して熊本森林管理署に統合し熊本森林管理署となる
平成23年	熊本森林管理署庁舎新築
平成25年	国有林野事業特別会計から一般会計へ移行

署等の所在地				
同 左				
森林管理署等	郵便番号	所 在 地	電 話	F A X
九州森林管理局	860-0081	熊本市西区京町本丁2番7号	096-328-3500	096-355-3891
熊本森林管理署	861-1331	菊池市隈府907	0968-25-2101	0968-25-2104
菊池森林事務所	861-1682	菊池市重味3374-1	0968-27-1000	同 左
内田森林事務所	861-0423	山鹿市菊鹿町池永280-10	0968-48-2108	同 左
熊本森林事務所	861-5344	熊本市西区河内町岳516	096-277-2005	同 左
南阿蘇森林事務所	869-1411	阿蘇郡南阿蘇村大字河陰138-2	0967-67-0069	同 左
天草森林事務所	863-0042	天草市瀬戸町50-6	0969-22-4412	同 左
矢部内大臣森林事務所	861-3516	上益城郡山都町千滝27-1	0967-72-0395	0967-72-1157
大矢森林事務所	861-3516	上益城郡山都町千滝27-1	0967-72-0725	0967-72-1157

九州森林管理局ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu> e-mail:rinkuma1@kyusyu.kokuyurin.go.jp

(森林管理署等のホームページは、九州森林管理局のホームページからご覧いただけます。)



熊本森林管理署庁舎



国民の森林・国有林

紙一枚からの思いやり
木になる紙



この冊子に使われている紙は、
日本の森を育てるために間伐
材を積極的に使用しています

【令和 6 年 10 月 1 日作成】